



「とある不良と風紀委員」

イラスト: ぽん

初版: コミックマーケット80

実は禁書の中では白井黒子が大好きなんです、メインの話書いてもいいよね！ という訳で七冊目は白井や風紀委員がメインのお話です。

なぜか風紀委員は不良が絡むというダメなイメージがあるんですが、一説によると、話を盛り上げるためにこんな治安が悪い街になってしまったとか。まあ確かに常時あんな感じじゃ世紀末というか……。

そんなこんなで今回のオリキャラは「夜見公平」「天野燐」「矢玉煉」の三人です。不良はこの内、夜見と矢玉。夜見は無能力者ですが、相手の視線から行動を予測する『技術』を持っているんですが、上条も能力の予兆を感じ取るとかいうすごい事やってますよね……。天野は花火屋の娘で薬品調合できて爆発物作れて、矢玉は炎色反応を起こす物質から火を起こせる強能力者です。矢玉の能力は自分としては結構お気に入りです。挿絵は白黒ですが、カラーならもつと映えたんだろうなー、なんて。

話としては矢玉に連れ去られた天野を捜す夜見と、矢玉率いる不良グループの争いに白井達が巻き込まれるっていうお話です。でも実は天野は、他の不良から助けられた縁で自分から矢玉を手助けしてただけという……。キャラは立ってるのに、話の展開やその辺の裏事情を描き切れなかったなー、と実は反省点山盛りな一冊です。白井書けたのでまだいいですが。